

# 1 私たちの望むまちづくり

## 生活者主体となる まちづくりを協働で進めたい

### 1 協働によるまちづくり

#### (1) まちづくりへの関心の広がり

社会が豊かになるにつれ、私たちの価値観は、物質的な充足から心の充実へと移り、個々の心を満たす“個人の主体性”が大切にされるようになってきました。まちづくりにおいても、今、私たちの関心は都市基盤の整備よりも個々の身近な住環境の整備や保全に変わってきました。そして、そのまちづくりに対する市民のニーズは、ますます深まっています。

一方、行政主体のまちづくりは、都市計画など法令に基づいたもので、道路の整備など都市基盤づくりが中心でした。そして、効率性や経済性が優先されたり、市民に対して広く公平性、均一性を保つことが必要でした。そのため、市民を主体とする新しい価値観を持つ市民ニーズに対応しきれない面が生まれてきました。

#### (2) 意識を変え、まちづくりに参加

私たち個々の多様なニーズを大切にしたいまちづくりを進めていくには、だれかが、行政では対応しきれない部分を代わって受け持ち、生活者の立場で取り組んでいく必要があります。それは、私たち市民自身です。

そのためには、まず、多種多様な意見を持つ私たち自身の意識を変えることが必要です。私たちの意識の中には、まちづくりに対し、「無関心」と「行政依存」といった二つの意識が見られます。私たちがまちづくりに参加するためには、まず、この二つの意識を変える必要があります。自分自身にとって何が問題なのかを把握し、自らを変革する努力をしていきたいと思えます。こうした意識の変革を図りながら、私たちは、参加し、行政と役割分担をし、協働によるまちづくりを進めたいと思えます。